

## 第1回 南砺市再生団地計画策定委員会議事録（要旨）

□日 時：令和元年10月16日午後2時30分～午後4時40分  
□場 所：南砺市役所福光庁舎4階 402会議室  
□出席者：（委員）桜井委員長、山田副委員長、柴田委員、西委員、坂井委員（嶋谷代理）、丸田委員、窪田委員、柴委員、武田委員、吉田委員、松田委員（金兵代理）、（事務局）ふるさと整備部都市計画課 吉田課長、林係長、山下主事、（創計画研究所）川口、定塚

1. 開会挨拶 ふるさと整備部長による挨拶
2. 計画策定の目的 課長より説明
3. 委員紹介 事務局より各委員紹介。委員長に桜井委員、副委員長に山田委員を委嘱した旨を説明。
4. 委員長挨拶 委員長による挨拶
5. 資料説明 資料1、2に基づき事務局が説明
6. 質疑応答（要旨のみ）
  - （委員長） 今日の委員会は何かを決定する会議ではなく、次回の委員会が大切なので、今日は色々意見を出してほしい。まず、資料2のP23までで質問だけを言ってほしい。
  - （委員） P2 住生活基本計画の「今後10年間の課題」の①で、後期高齢者が急増しているのは大都市圏だけではないのに、なぜこの様な表現になっているのか。
  - （事務局） この章は国、県、市の「住生活基本計画」の概要を示したもので、質問の部分は国が示した課題である。
  - （委員長） 地方の高齢化の急増は以前より課題になっているが、今後は大都市圏でも急増するという国サイドの課題意識である。
  - （委員） 「セーフティネット」と「シルバーハウジング」の用語の意味を説明してほしい。
  - （事務局） <用語の説明>
  - （委員） 高齢者とは65歳以上を指すのか。
  - （事務局） 65歳以上を指している。
  - （委員） この計画の対象となっている3団地を選定した理由と、減戸することの理由を説明してほしい。
  - （事務局） 市の「住まい・まちづくり計画」で検討した結果であり、経過年数や敷地面積、応募状況等より総合的に選定した。また減戸することについては、需要推計に基づき検討した結果である。
  - （委員） 荒田町団地やもみじ野団地等のような複数棟ある団地では、それぞれ経過年数が異なっているが、どう対応するのか。
  - （事務局） この計画の中で、建替えや用途廃止等の順序を含めて検討したい。
  - （委員） 耐震については触れてないが、考慮したか。

- (事務局) 耐震強度については、すべての棟でクリアしている。
- (委員) 計画期間はいつまでか。また、P3 総合計画については現在策定中であり、内容をチェックしてほしい。
- (事務局) 市の「住まい・まちづくり計画」は令和 8 年度までとなっており、これに基づく再生団地計画であるので、この期間内にまとめることになる。  
総合計画については、新しい内容に修正したい。
- (委員長) P9 (ウ)「障がい者」には知的障害者、肢体不自由者等、色々の種別があるので、内訳を調査して欲しい。P21 右下の表で、障がい者のいる世帯は 19.5%と高い数値を示しているが、障害には色んな種類があり、サポートの仕方はそれぞれ異なる。ハード面だけではなく、それを支えるソフトの仕組みづくりが必要である。また、「ひとり親・多子世帯等の子育て世帯」の数値が 6,0%になっているが、「ウ、家族構成」のグラフでは「母(父) + 子供」世帯数が大きくなっている。確認してほしい。
- (委員) P3 富山県住まい・まちづくり計画の目標の設定の部分で、「高齢者生活支援を併設するサービス付き高齢者向け住宅の割合」を 77%から 90%に引き上げるとなっているが、現在でもそんなに高い割合なのか。
- (委員) 平成 26 年度の数値は実績値であり、令和 7 年度までには 90%を目標にしたいと考えている。
- (委員長) 次に、P30、31 に示されている A 案～C 案についての意見を出してほしい。日頃考えている事でも良い。
- (委員) 以前、市住宅担当に在職していた経験から、同一敷地での建替えは入居者の住み替えが必要となり、説得が難しかった。建替えするのであれば、別地の方が良い。A-2 案や C 案にある旧保育園跡地の他に、旧ファブリカ第一工場跡地も候補地として検討すればどうか。現在敷地の西側には、知的障害者施設や保育園があり、東側は更地になっており、この場所に、近隣に住む高齢者と保育園の子供達が交流する場と共に市営住宅を設ければどうか、という地元の意見がある。
- (委員) 概算で良いので、案毎の概算費用を考慮し、検討すればどうか。また、どの段階で地元の意見を聞くのか。計画に反映して欲しい。
- (委員長) 次回までに概算費用、地元の意見を参考資料として準備して欲しい。
- (委員) 先程の意見に出ていたファブリカ第一工場跡地だが、現在ある知的障がい者施設に市営住宅を併設させればどうか。  
自分は現在、空き家対策に係る仕事をしているが、若者世帯はアパートではなく、空き家に住んでほしい。そして、子どもの故郷にしたいと思っている。高齢者はシルバーハウジングや公営住宅に、若者は空き家に住むようになれば良いと思っている。
- (委員長) 空き家に限らず、地域になじむあり方が大切。
- (委員) 入居者が何を望んでいるのか、調査をすればどうか。
- (委員長) 社会福祉協議会は色んな情報を把握していると思うが、入居者で、こんな問

題を抱えているという情報はないか。

(委 員)            トラブルは色々聞いてはいるが、生活困窮者に対するケアが必要だと思う。

(委員長)            今後、悩んでいる人の情報が必要かもしれない。

(委 員)            公共施設再編の担当課としては、減戸を進める一方で、高齢者を始めとする支援が必要な世帯に対して、セーフティネット機能の維持を図りたいと考えている。別地の候補として、ファブリカ第一工場跡地も含め、より良い方向に行くことを願っている。

(委 員)            こども課の立場としては、公営住宅が子育て世帯、ひとり親世帯、収入の少ない世帯等の受け皿になることが支援だと思う。計画や建替えにあたって配慮して欲しいことがある。

①生活弱者の優先入居に配慮してほしい。②入居者のニーズを把握してほしい。③入居中の子育て世帯、特に母子家庭には、近隣に親世帯が住んでいると考えられるので、各地区に公営住宅は均等に有ったほうが良い。統合ではなく、地区毎にあるべき。

(委 員)            障がい者の内、知的障がい者は年々増加傾向にある。第5期南砺市障がい福祉計画の中で、2020年まで施設入所者を自宅生活やグループホーム等へ移行する目標値を設定していることから、グループホームやシルバーハウジングを検討して欲しい。A-2案では、障がい者も対象にしてほしい。

(委 員)            荒田町団地には高齢者が多く、用途廃止すると家賃が高くなるので困る人が多い。しかし、古い住宅団地の場合、デイサービスの作業を行うにも不便。また住みにくいこともあり、生活環境を変えるには良い機会だと思う。しかし、建替え後の家賃のアップが課題。

現在は団地内の交流だけで、外部との交流が殆どないのが実情で、シルバーハウジング制度等を取り入れることで交流の拡大が期待される。

(委 員)            入居者は、家賃が上がるのを懸念して、直してほしくないという意見があるかもしれないが、大家の立場とすれば、道路や橋等と同様に老朽化すれば改善しなければならない。また、住み易い環境づくりや引っ越し等について、今後住民に説明しながら進めていきたいと考えている。また、スケールメリット発揮の観点からも、集約化が基本と考えている。

(委員長)            入居者は直してほしいと思っているはず。どんな生活がしたいのか、意見を聞いて進めてほしい。

(委 員)            自分は福野出身。南砺市は合併を行った結果、公営住宅が多いので、集約化は必要だと思う。高齢者、障がい者、母子家庭等は民間アパートに入りやすく、公営住宅は最後のセーフティネットである。

宅地分譲や民間アパートの供給状況を見ると、やはり建替えは福野地区がベターかな。しかし、別地での建替えは、コミュニティの崩壊を招く恐れがあるので、慎重に進める必要がある。公営住宅ストック比率は現在3.12%だが、維持の方が良いのかな。県営住宅は空き室が多いが、P22応募状況を見ると、遊部住宅では高く、潜在的な需要は多いと考えられ、新しければ入居すると

思う。

P22 応募者の属性、理由（世帯分離、離婚等）がわかれば調べてほしい。

P9「住宅の所有関係別世帯年収」で、300万円以下の公営住宅の入居対象層が民間アパートに多く入居している。もっとPRが必要だと思う。

(委員長) 次回委員会では入居者の意見、要望を踏まえて協議したい。

委員の方々も事務局の資料の協力をお願いしたい。

#### 7. その他

(事務局) 次回委員会は、来年1月15日（水）か29日（水）を予定している。

決定し次第、あらためて連絡する。

#### 8. 閉会

課長による閉会の宣言。